

# 能美市の予算と施策

問い合わせ 財政課 (☎ 58-2203 ㊟ 58-2290)

令和2年度  
**一般会計 218億6,000万円**  
 (前年度比 △6億4,000万円 △2.8%)  
 予算総額 397億4,320万円  
 (一般会計・特別会計・公営企業会計を合わせた予算額  
 対前年度比 △11億1,270万円 △2.7%)

## 全体像とポイント

令和2年度当初予算の一般会計、特別会計、企業会計の予算総額は、397億4,320万円と対前年度比11億1,270万円、2.7%の減となりました。このうち一般会計の総額は、歳入歳出それぞれ218億6,000万円となり、前年度当初予算と比較し、6億4,000万円、2.8%の減となっています。

## 歳入

市税は、個人市民税については配偶者特別控除の見直し等、法人市民税についても法人税割の税率の見直しによりそれぞれ減収を見込みました。固定資産税は、家屋の新增築分と好調な企業誘致の影響もあり設備投資が進んでいることから増収を見込みました。

市税の総額では、対前年度3億200万円、3.8%増の83億5,000万円を見込みました。

地方交付税は、市税の増収見込みなどを考慮し、対前年度比1億8,000万円、4.4%減の39億5,000万円としたほか、市債は、博物館建設事業の進捗などにより対前年度比8億8,460万円、32.2%減の18億6,560万円としました。

## 歳出

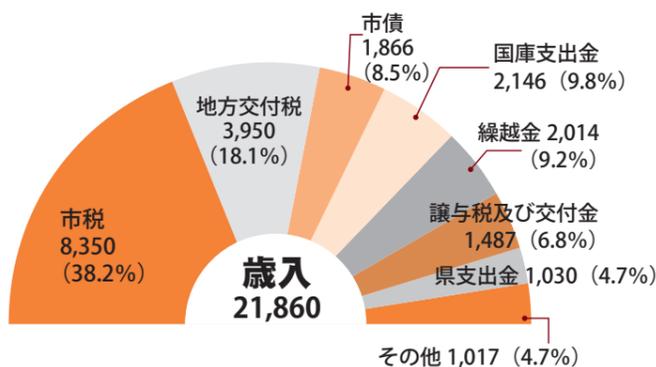
民生費は、健康増進施設整備事業やのみ地域力強化支援ファンド創設事業などにより、対前年度比4億2,834万円、5.6%増の81億734万円を計上しました。

土木費は、令和元年度の国補正予算に伴い、道路事業を前倒したことなどにより、対前年度比2億2,475万円、9.7%減の20億8,063万円を計上しました。

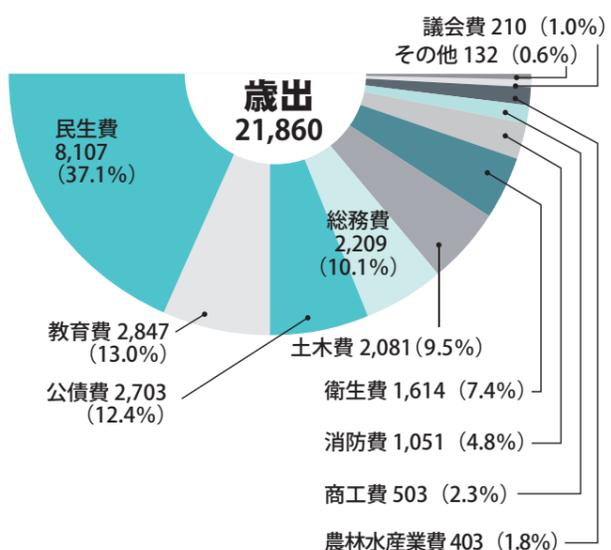
教育費は、令和元年度の国追加内示に伴う宮竹小学校大規模改造事業の前倒しや博物館建設事業の進捗などにより、対前年度比8億1,398万円、22.2%減の28億4,727万円を計上しました。

公債費は、過去の大型事業の償還完了や利率の高い起債の償還が進んだことから、対前年度比9,388万円、3.4%減の27億278万円を計上しました。

企業会計	
水道事業会計	収益 9億8,310万円
	資本 4億3,320万円
工業用水道事業会計	収益 4億3,990万円
	資本 3億440万円
下水道事業会計	収益 17億2,740万円
	資本 15億8,370万円
市立病院事業会計	収益 24億8,750万円
	資本 3億9,940万円



## 一般会計 歳入・歳出 (単位: 百万円)



特別会計・企業会計 当初予算	
特別会計	
国民健康保険特別会計	45億円
後期高齢者医療特別会計	6億3,000万円
介護保険特別会計	43億7,820万円
温泉事業特別会計	1,640万円

▶特別会計…国民健康保険など一般会計とは区別が必要な事業の会計  
 ▶企業会計…水道など料金収入で運営している事業の会計

## 予算編成の方針

新年度予算編成は、これまで同様喫緊の課題であります少子高齢化や人財・担い手確保、自然災害や鳥獣被害、公共施設等の老朽化の解決に向けてのアセットマネジメント等課題に対し、『子育て・住環境の充実』、『産業振興・企業誘致推進、人財確保対策』、『交流人口の拡大』、『教育力の向上』、『安全安心のまちづくり』の5つの柱を重点施策として掲げ、これらを『シティプロモーション』、『行財政改革』の2つの方針で補完し、これまで以上にすべての施策が『移住・定住の促進』につながるよう予算編成を行いました。



## SDGs (エスディージーズ)と施策を連動

- 新年度予算の5つの柱である施策は、SDGsと関連付けて編成しました。
- SDGsとは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。国連サミットで採択された2030年までの国際目標で、持続可能な世界を実現するための17のゴール(目標)と169のターゲット(具体目標)から構成されています。
- 能美市においても「誰もが理解し、誰もが取り組める、わかりやすいSDGs」を推進するため、全庁横断的に市民への普及啓発を行い、持続可能なまちづくりを推進していきます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



世界を変えるための17のゴール(目標)

### ③ 交流人口の拡大

- 能美市推奨品事業 (395 万円)**  
 優良観光土産品のパンフレットやホームページ等に掲載する写真を刷新し、商品の魅力を最大限に引き出し発信します。
- プロモーション事業 (1,756 万円)**  
 市内外から広く集客を図るため、子どもに人気の高い映画のキャラクター「ミニオンズ」を活用したイベントや能美市ゆかりのミュージシャン等によるコンサートなどを開催します。
- 九谷焼陶芸館改修事業 (300 万円)**  
 知名度の向上や交流人口の拡大を目的に、利用しやすく、リピーターの増加につながるような九谷焼陶芸館の改修に向けて、実施設計を行います。
- オリンピック・パラリンピック関連事業 (428 万円)**  
 男子 50 km 競歩の鈴木雄介選手、女子ライフル 3 姿勢の平田しおり選手を市民一丸となって応援し、大会機運を高めるオリジナルポスターやペナントを作成します。
- 聖火リレー関連事業 (580 万円)**  
 能美市を通過する聖火リレーの応援イベントを開催します。

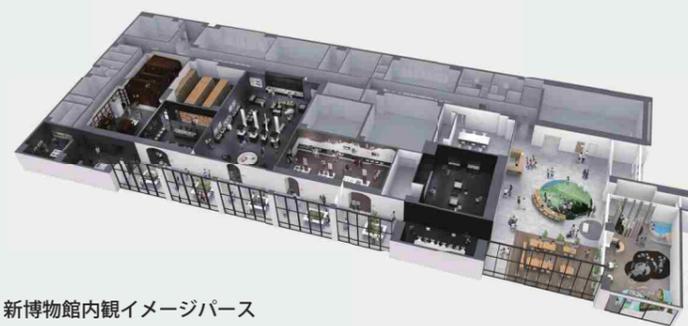


### 新博物館関連事業

能美の自然、歴史を学び、守り、伝え、よりよき未来を育む施設として、能美市を知る展示や体験コーナーを多く取り入れるとともに、「何度でも訪れたいなる手作りの博物館」を目指し、様々な工夫を凝らしていきます。更に新博物館を、市内の観光資源や古墳群へ誘う玄関口としても位置付け、開館当日には、古墳まつりも同時開催し、賑わいの創出を図ります。



- 博物館建設事業 (3 億 6,500 万円)**  
 今秋のオープンに向けて、学びと観光交流の拠点となるような新博物館の工事を進めます。
- 博物館開館準備事業 (5,000 万円)**  
 新博物館の開館に向けた展示品等の移転作業、開館式典、館内案内などの印刷物を作成し、市内外に博物館の情報を発信します。
- 史跡能美古墳群及び埋蔵文化財総合活用事業 (1,020 万円)**  
 国指定史跡能美古墳群の出土品を保存処理するとともに、古墳群を周知するマンガ等の制作や、新博物館のオープンに合わせて「古墳まつり」を開催します。
- 史跡能美古墳群保存整備事業 (1 億 26 万円)**  
 能美古墳群の保存整備を行い、豊かな自然の保護、古墳から見る能美の眺望、学びの場を整備します。また、団体見学の受け入れ等に備え、秋常山史跡公園に駐車場を整備します。



新博物館内観イメージパース



新博物館外観

### ① 子育て・住環境の充実

- コミュニティバス運行事業 (1 億 732 万円)**  
 「わかりやすい」「便利につながる」「朝夕の速達性」の 3 つの柱をコンセプトに、4 月 1 日から新たなルート・ダイヤで「のみバス」の運行を開始します。
- コミュニティバス利用促進事業 (128 万円)**  
 新ルート案内板の設置、200 万人乗車記念企画など「のみバス」の利用促進を図るため各種事業を行います。
- コミュニティバス購入事業 (7,200 万円)**  
 乗客の安全確保のため、老朽化の進む「のみバス」3 台を更新します。
- 妊産婦医療費助成事業 (600 万円)**  
 妊娠・出産に係る医療費を助成します。助成を受けやすいように、4 月の診療分より申請できる期間が長くなります。
- 子宝支援給与金支給事業 (1,920 万円)**  
 4 月から、治療継続者の住所要件を撤廃します。また、特定不妊治療の助成限度額を 100 万円/年度へ拡充するほか、助成回数の制限を撤廃し、夫婦の経済的負担の軽減を図ります。
- 子ども・子育て支援推進事業 (1,200 万円)**  
 保育サービスの向上のために、子ども達の写真や園児の出欠状況等をアプリで確認できるシステムを計画的に導入します。
- 福島保育園施設整備事業・認定こども園用地取得事業 (6,305 万円)**  
 多様化するニーズと施設の老朽化に対応するため、民間事業者により幼保連携型認定こども園を整備します。
- 健康福祉センター増築事業・健康福祉センター施設改修事業 (1,630 万円)**  
 妊娠～乳幼児期の子育ての切れ目のない支援が円滑に行うことができるよう、健康福祉センターの増築・改修に向けて実施設計を行います。



### ② 産業振興、企業誘致推進、人財確保対策

- 移住体験交流事業 (289 万円)**  
 能美市の知名度向上、関係人口の拡大、移住者の獲得を目的に、九谷焼や国造ゆずに触れるなど能美暮らしの体験の機会を提供するほか、能美市を紹介する県外でのイベントを開催します。
- 地場産業推進費 (155 万円)**  
 九谷焼、地域ブランドなどの地場産業を推進するために、九谷焼の食器類を購入する飲食店等に対して補助を行います。
- 北陸先端科学技術大学院大学創立 30 周年記念支援事業 (120 万円)**  
 北陸先端科学技術大学院大学 (JAIST) 創立 30 周年記念と、能美市と JAIST における学官連携協定 15 周年を記念して、特別講演会と特別展示を開催します。
- 事業承継支援事業費 (100 万円)**  
 市内の企業及び事業所の持続的な経済活動の支援を目的に、全国的に課題となっている事業承継について JAIST と連携し、事業承継に関するセミナー、相談会などを開催します。
- 大学連携事業 (336 万円)**  
 地域課題の解決や地域の創造を目的に、学官連携協定を締結している JAIST・金沢大学・金沢学院大学と各大学の特色を活かした連携事業を展開します。
- スマート農業農村実証事業 (120 万円)**  
 担い手減少・高齢化進行による労働力不足の問題に対して、JAIST、日本総合研究所と協業し、AI や IoT などのデジタル技術を活用した農業、農村のスマート化の実証に向けた調査検討を行います。



## ⑥ シティプロモーション

### ・定住促進助成交付金事業 (4,919 万円)

移住・定住の促進のため、三世同居・近居も含めた若者世帯の住宅取得を支援するとともに、東京圏から能美市への居住、市内の事業所等への勤務など、一定の要件を満たした方に半年間レンタカー代の一部を補助します。

### ・移住・定住促進戦略事業 (468 万円)

サービスエリアや駅に移住・定住促進パンフレット・ポスターの設置や成人式・立志式でUターンに資する動画の上映など移住・定住促進のための情報発信を行います。

### ・Nomi15 婚姻・出生アニバーサリー事業 (78 万円)

能美市オリジナルの婚姻届、出生届、スタンプの作成や記念撮影のためのバックボードの設置、能美市在住で能美市に婚姻届・出生届をされた方への記念品贈呈などを行います。

### ・シティプロモーション事業 (2,700 万円)

専門家によるコンサルティング、PRコンテンツの制作などの企画業務を行うとともに、公式キャラクターグッズの作成や能美市サポーター制度の推進などシティプロモーションの強化を図ります。

### ・広域連携によるプロモーション推進事業 (380 万円)

北陸新幹線県内全線開業の機運醸成を図るため、小松市と連携し、三大都市圏等へのプロモーションを行います。

### ・能美市誕生 15 周年企画事業 (300 万円)

特産品の丸いもとゆずをモチーフにした能美市誕生 15 周年ロゴを制作し、そのロゴを活用したシティプロモーションを展開するとともに、関東・関西・東海能美市の会の交流会を開催し、応援体制を構築します。

### ・シティプロモーション連携事業 (100 万円)

市民団体や企業がシティプロモーションに関連して行う事業に対し補助を行います。

### ・能美市検定実施事業 (70 万円)

自分に合った難易度を選択し受けられる級位制を導入し、子どもから大人まで広く受験しやすいのみ検定を開催します。

### ・小松・能美連携観光推進事業 (1,000 万円)

小松市と連携して、九谷焼をメインとしたプロモーションを両市で展開します。



## ⑦ 行財政改革

### ・行政証明書交付サービス事業 (169 万円)

庁舎内に行政証明書交付サービス機能を持つコピー機を設置し、マイナンバーカードを利用した各種証明書の取得と、市民のコピー利用を可能にします。

### ・CHAT 窓口申請事業 (589 万円)

記入する書類の簡略化や増加する外国人の対応のため、日本語を含む 7 言語に対応したインターネット、チャットボットを活用した住民異動届書作成システムを導入します。

### ・我が事・丸ごとユニバーサル推進事業・能美市役所本庁舎施設改修 (279 万円)

市役所トイレへの自動音声情報案内設置や授乳室の設置などユニバーサルデザインによる公共施設の整備を行います。



※その他の主な事業は、ホームページ中に「令和 2 年度能美市予算のあらまし」を掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

## ④ 教育力の向上

### ・視聴覚機器等活用モデル事業 (741 万円)

3 月補正予算で全小中学校に整備する無線 LAN 環境及びタブレット端末と併用することで学習効果がさらに高まることから、プロジェクター型の電子黒板を中学校へ計画的に配置します。

### ・英語力向上事業 (45 万円)

小学校での英語の教科化が始まることから、JAIST や国際交流協会と連携し、外国人に授業へ参加してもらうことで、児童が英語を使ってコミュニケーションをとる機会を提供します。

### ・小学校指導書等整備事業 (1,776 万円)

新学習指導要領により、教師用教科書、指導書、デジタル教科書、ピクチャーカード (英語) を整備します。

### ・スクールカウンセラー配置事業 (127 万円)

近年増加している不登校生徒の対応を強化するため、3 中学校や家庭を巡回するスクールカウンセラーを配置します。

### ・コミュニティスクール事業 (650 万円)

学校・家庭・地域が一丸となって地域子ども達を育てる取り組みを推進するため、対象に中学校にも拡大し、能美市の宝である子ども達を地域ぐるみで見守り・育てる活動を行います。

### ・宝くじスポーツフェア事業 (100 万円)

往年のプロ野球名選手を多数お招きし、少年野球教室やドリームチームとの試合を開催します。



## ⑤ 安全・安心なまちづくり

### ・NOMI グローバルコミュニケーションプログラム事業 (190 万円)

JAIST との共同研究として、保育園から高校までの子どもや教職員などに対し、講義やワークショップなど、多様性理解を基盤としたグローバル教育を提供します。

### ・街灯 (防犯灯) LED 化促進事業 (1,480 万円)

市民の安全と電気料の削減のため、能美市が管理する街灯 (防犯灯) を LED 灯具に更新します。

### ・健康増進施設整備事業 (3 億 3,428 万円)

株式会社エムが令和 3 年春にオープン予定の新健康増進施設の改築整備に対して補助を行います。

### ・二次救急医療運営補助事業 (910 万円)

市内の救急医療体制の強化を図るため、私的二次救急病院に対して補助を行います。  
※私的二次救急病院：救急医療体制のうち、入院加療を必要とする重症患者への治療に対応する二次救急医療を担う私的医療機関

### ・のみ地域力強化支援ファンド創設事業 (1 億 5,000 万円)

高齢者の買い物支援や子ども食堂の運営などの地域福祉の互助活動を支援するための「のみ地域力強化支援ファンド」を創設します。協賛する民間企業等から寄附を募り、ファンドの運用益や取り崩しにより地域における様々な支援活動をサポートします。

### ・地区防災マップ作成事業 (121 万円)

防災意識の向上と警戒避難体制の充実・強化を図るため、地区防災マップを作成します。

### ・消防車両等購入事業 (1 億 8,196 万円)

緊急時の対応に万全な体制を確保するため、屈折はしご付消防ポンプ車の導入及び消防ポンプ車の更新を行います。

### ・女性分団整備事業 (200 万円)

女性の視点を活かした消防団活動を推進するため、消防団に女性分団を整備します。

